

会議名	令和7年度 つばさ南小・つばさ北小の統合による小中一貫教育校に関する説明会
開催日時	令和4年6月20日（月）午後7時から8時10分まで
場 所	川島町立伊草小学校体育館
参加者	9人（傍聴者含む）
議 題	(1) 令和7年度 つばさ南小・つばさ北小の統合による小中一貫教育校に関する説明 (2) 説明に対する質疑
出席者	教育長 中村正宏 教育総務課長 鈴木克久 伊草小学校長 柳澤睦夫 学校統合・学校教育指導幹 関口敬氏 学校統合推進室長 坪内嘉夫 事務局職員 指田直輝、柿沼裕美
配布資料	資料 令和7年度つばさ南小・つばさ北小の統合による小中一貫教育校
<p>説明会の内容・概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 出席者紹介 4 説明 5 説明に対する質疑 6 閉会 <p>《教育長あいさつ》省略</p> <p>《資料により説明》省略</p>	

《質疑・応答》

質問 川島中学校敷地内に増築する校舎は「プレハブ」なのか。また、令和17年度までの10年間を「プレハブ校舎」で勉強するのか。

回答 増築校舎は、軽量鉄骨のプレハブ建築で検討しています。外観は鉄筋コンクリート造の建物と遜色なく、また、耐久性、耐震性、断熱制なども問題なく、比較的安価に建設できる点がプレハブ建築のメリットです。令和17年度を目途とした小中一貫教育校の設置場所は未定ですが、増築校舎をそのまま使用し続けることも可能だと考えています。

質問 小中一貫教育校は、川島中学校ではなく、つばさ南小学校、つばさ北小学校のどちらかの校舎を活用するという考えはないか。新たに校舎を増築することは、財政的に無駄になるのではないか。

回答 令和7年度を目途とする小中一貫教育校の狙いとは、子供たちが、多様な人間関係の中でお互いに切磋琢磨できる環境を整えるため、規模の適正化を進めること、また、小・中学校の9年間を見通した中で、さらに質の高い教育活動を展開したい考えから、教員が一か所に集まり、常に子供たちを見守りながら指導できる「施設一体型の小中一貫教育校」を目指しています。

財政的にみると、各小学校では毎年250万円ほどの修繕や工事を行っており、2校が廃校となれば500万円ほどの費用が削減できます。また、学校の経費として校務員など教職員の補助スタッフの人件費や図書や教材の購入費など、年間で100万円ほど経費が削減されるのではないかと考えています。

さらに、約20年に1度は、屋根や壁、床、電気設備など大幅に大規模な改装工事が必要であり、校舎、体育館を含め、1校当たり2億円の改修費用が見込まれます。このため、公共施設の整理縮小は大きな削減効果があると言えます。

小中一貫教育校の実現には、工事費など経費がかかる面はありますが、長い目で見た場合、経費が削減できる部分がありますので、全体的に見れば大きな財政負担にならないのではと考えています。

質問 小学校5年生から部活動に参加できるとのことですが、中学生との「体格差」がある中での活動は可能なのか。

回答 小中一貫教育の先進地（春日部市の江戸川小中学校）に確認したところ、確かに「体格差」のため、活動に制約が生じることはあるようです。

そのため、安全面を十分に配慮したうえで、部活動に興味関心が持てるような活動ができる方向性で検討していきたいと考えています。

《課長あいさつ》省略

作成者	教育総務課 学校教育グループ 柿沼裕美
-----	---------------------

